

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：国道・防災課

担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道219号 <small>きゅうせんだう</small> 球泉洞バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	熊本県
起終点	自：熊本県球磨郡球磨村一勝地 至：熊本県球磨郡球磨村一勝地			延長	1.6 km
事業概要 ：国道219号は熊本県熊本市を起点とし、宮崎県宮崎市に至る延長約208 kmの幹線道路である。球泉洞バイパスは、現道法面にある多数の転石による落石事故を防ぐためのトンネルを含む延長1.6 kmの2車線道路である。					
H6年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H8年度用地着手	H9年度工事着手		
全体事業費	約46億円	事業進捗率	24.6%	供用済延長	0 km
計画交通量	10,400台/日				
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 1.6 (残事業)	総費用： (残事業)/(事業全体) / 46億円 （事業費： / 46億円 維持管理費： / 0億円）	総便益： (残事業)/(事業全体) / 70億円 （走行時間短縮便益： / 65億円 走行費用減少便益： / 5億円 交通事故減少便益： / 0億円）	基準年： 平成15年	
事業の効果等 ・災害への備え（現道等の防災点検による通行規制等が解消される。） ・個性ある地域の形成（主要な観光地（鍾乳洞：球泉洞）へのアクセスが向上。） 他3項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見 ：国道219号は地域の交流促進、地域文化経済の発展のため重要な幹線道路であることから、関係2市10町村の首長で構成される一般国道熊本宮崎線道路整備促進期成会より早期整備の要望（平成15年11月25日）を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ：九州縦貫自動車道「八代～人吉」間の開通により12,000台/日(H6セツ入)から6,700台/日(H2セツ入)に一旦は減少したものの、現在は8,500台/日(H11セツ入)と増加している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 一部において用地補償交渉が難航しているものの、早期解決を図りトンネル工事に着手する。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 難航している用地について早期解決を図り、トンネル工事に着手し平成19年度の完成供用を目指す。					
施設の構造や工法の変更等 特になし					
対応方針 ：事業継続					
対応方針決定の理由 ：『再評価監視委員会議論の概要及び付帯意見』 国道219号は、八代市と人吉市を結び地域間の交流促進を図るうえで重要な路線であるにもかかわらず、線形不良で落石等の防災上危険な箇所も多く見られることから、コスト縮減を意識し、早期完成に努めること。また、良好な自然環境を有する地域であることから環境にも配慮すること。					
事業概要図					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。